

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表日

2026年2月15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」藤枝ついじ校

利用児童数

35

回収数： 23

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	6	0	0	座学をするには問題ないが、体を動かすには狭いと思う。子どもが定員いっぱいだと活動する時に少し狭く感じる時がある	・法令厳守したスペースは確保しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	2	0	0	なし	・法令で必要とされる配置数に加え、保育士、心理担当職員を配置しております。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。	16	6	0	1	なし	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	1	0	0	なし	・エアコン交換の検討をします。 ・毎朝清掃時、支援終了時に机、椅子、ドアノブ等の消毒をしております。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1	0	0	来週が集団なのか個別なのか知りたい。なし	・相談支援事業所と連携し、発達段階にあった支援計画を提供しております。
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	0	0	0	なし	・玄関、入口にガイドラインがありますのでいつでもご覧ください。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	22	1	0	0	なし	・半年に一度モニタリングを行い、計画の見直しをし、1人1人にあった個別支援計画を作成しております。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1	0	1	なし	・玄関入口にガイドラインがありますのでいつでもご覧ください。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	3	0	0	なし	・半年に一度モニタリングを行い、計画の見直しをし、最新の支援計画に沿って支援を行っております。
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	2	0	0	なし	・毎支援、1人1人についたプログラムを作成し、小集団やイベント等を取り入れ、固定化されないように工夫しております。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	10	5	4	4	なし	・ご要望があった場合にはすぐに連携をとる体制を整えております。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0	なし	・玄関入口に提示しております。いつでもご覧ください。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	0	0	0	なし	・契約時、モニタリング時に支援計画書を示しながら、支援内容の説明を行っております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング（※5）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	2	0	2		
保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	0	0	0		・毎支援、見学と十分なフィードバックを行っております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	2	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	9	2	6		・就学前相談会の開催、親子で参加するイベントなどを行っております。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	0	0	1		・事業所内相談や保護者勉強会を開催しております。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1	0	1		・引き続き、振り返りを充実させて参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20	1	0	2		・ブログ、LINE、インスタグラム等を用いて情報を発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	0	0	0		・厳重に取り扱っております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	0	0	2		・月に一度、防災訓練を行っておりまます。11月には実際に利用者様と避難場所へ向かう訓練を行いました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	0	0	0		・上記に加え、消防士による避難訓練や、水消火器を用いた火災訓練を行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	3	0	4		・緊急連絡先カードを記入していただいております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21	2	0	0		・今後も安心感をもって通所していくだけるよう、努めて参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	2	1	0	行く前にグズっていても、行くと大体楽しんでやれているが、時々本当に嫌がって手を焼く時がある。	・お子さんが楽しく支援できるように工夫しております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	2	0	0		・お子さんの発達に合った支援ができるよう努めて参ります。

従業者向け

放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・法令順守したスペースは確保されています。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・法令で必要とされる配置数に加え、保育士・心理指導担当職員を配置しています
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・事業所が2階となっておりますが、室内はバリアフリーになっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日の清掃（除菌シートでの拭き掃除）はもちろん、空気清浄機・加湿器を常に稼働させています。季節の変わり目には、エアコン、扇風機などの清掃を行っています。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・基本個別療育ですので、個別部屋になっています。
業務 改 善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・朝のミーティング時に振り返り、注意点・改善点を全員で周知するような機会を設けています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者からのアンケート結果は前職員で回覧し、意見交換等しています。就学についての相談会を行いました。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・朝のミーティング・日々の打ち合わせ時やその都度機会を見つけて把握に勤め、業務改善に繋げています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・法人内での研修は整備され、それぞれの職員に合った研修や全員参加も行っています。 ・外部研修はそれが希望する研修に参加しています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムはR7.1月より公表されています。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・年度初めに全員に毎年、アセスメントシート記入をお願いし、支援計画にいかしています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・支援終了後の担当者のフィードバック時や、児発管による窓口での聞き取り等を行い、かかわる職員の共通理解の元、計画を作成している。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・個別支援計画に沿って支援を行っています。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・事業所で定められた様式を使って、適応行動の状況について確認をしています。

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		・モニタリング後、最新情報に沿って個別支援計画を立てています。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		・特にチームは設けていないが、活動プログラムで分からぬ点や疑問点があれば、相談し、打ち合わせ時に確認をしています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		・指導員間でコミュニケーションをとりながら工夫しています。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・製作やゲーム、イベントで集団での活動を取り入れています。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		・特にチームは設けていないが、活動プログラムで分からぬ点や疑問点があれば、相談し、打ち合わせ時に確認をしています。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		・毎支援後に打ち合わせは行えないが、支援においての疑問点や困り事があれば随時確認しています。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・支援予定の登録、その後、記録を記入する順番で、目に見える形で徹底しています。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		・半年ごとにモニタリングを行い、計画の見通しの判断をしています。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>		・基本活動に加え、余暇活動、創作活動などを組み合わせています。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		・工作や支援後のお楽しみ時、自己選択をして取り組む体制を整えています。
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		・基本的には児発管が参加していますが、出来る限り、担当指導員も参加でき体制を整えています。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		・関係機関と連携して支援を行う体制を整えています。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		・保護者様より年間行事表などをいただき、年間行事などの把握に勤めています。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		・就学先への情報提供は現在行っていませんが、就学先からご要望があれば情報提供を行います。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		・就労先などから情報提供等の要望があれば行います。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		・発達支援センターきらりの研修を受講しています。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		・他療育機関との連携は図っています。

	33 (自立支援) 协議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		・藤枝市自立支援協議会に参加していますが、今年度より協議会より同じ法人からは代表者一人での参加をと言われています。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		・支援後、または見学の最中にその日の様子を保護者にお伝えすると共に、保護者様より学校やご家庭での様子を聞く機会を取っています。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		・年に1、2回ほどではありますが、ペアレン特訓等研修案内や保護者勉強会を開催しています。
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		・契約時に丁寧な説明をしています。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		・事業所内相談（家族支援）やモニタリング時に丁寧な聞き取りをしています。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		・契約時に説明をしています。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		・事業所内相談（家族支援）や来所時に聞き取りを行っています。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		・保護者勉強会等で話し合う機会を設け、保護者同士の連携を図っています。
	41 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		・苦情受付の対応について体制を整えています。
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		・LINEやブログ、インスタグラムにて情報を発信しています。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		・個人情報の取り扱いについて全職員に周知し、書類等は施錠できる書庫で管理しています。
	44 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		・特性に応じ、視覚的に分かりやすく示す、メールでの対応等の配慮をしています。
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>		・地域の公民館で人形劇を開催したり、体育遊びをしていますが、支援時間の時間など、いくつか問題解決に向けて調整をし考えています。
非常時等の	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		・各種マニュアルを作成しています。・感染防止委員会、防災委員会を設置し周知や訓練をおこなっています。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		・月に一度、防災訓練を行っています。
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		・面談や契約時に聞き取りを行っています。毎年アセスメントシートへの記入をお願いしています。
	49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		・面談時に聞き取りをした利害関係者へ記入をお願いしています。対応が必要な子どもには、検査結果等を保管するようにしています。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・安全計画に沿って安全管理が十分された中での支援を心掛けています。

対応	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		・年に一度、避難訓練を行い避難所の確認、引き渡しカードの確認を行っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		・ヒヤリハット事例があった際、事例を回覧、共有、ファイリングしています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		・虐待・身体拘束防止委員会を設置し、年1回以上の研修を受けています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		・契約時に重要事項してご説明させていただき、個別支援計画に配慮しています。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」藤枝ついじ校			
○保護者評価実施期間	2025年11月11日 ~ 2025年12月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数)	23
○従業者評価実施期間	2025年11月11日 ~ 2025年12月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月13日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者であるお子様自身が安心感及び楽しさを感じていること。	・適切な支援プログラム（プログラム内容を絵で表示）を利用者に提示していること、支援時間内30分ほどの時間を見学、フィードバックにて保護者様に活動についての効果等を説明している。	・特性の理解や5領域における理解を進めるために研修への参加
2	・事業所の支援に満足されていること。	・日頃から利用児の状況を保護者様に伝えお互いの情報共有を行っていること。 ・お子様や保護者様との意思疎通や情報伝達のために配慮していること。	・保護者様との相談スキルを上げていくための研修参加、事業所内研修。 ・事業所内の情報共有。
3	・専門的な支援が行われていること。	・お子様の特性に合った個別支援や、その日の子どもの状態を見極めて支援プログラムを実践していること。	・計画や支援に関する会議での共有事項を明確にしていく。 ・事業所全体で一人ひとりが意識を持ち、研修にも参加。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・お子様の活動スペース、生活空間が十分でないと保護者が感じていること。	・設置基準は満たされているが保護者が他事業所と比較してしまうこと。 ・身体を動かすスペースが狭いのではと、保護者が感じていること。	・今年度初めに、事務所スペースを少し狭くし、運動を行うスペースを広くする工夫を行った。 ・相談室を別途設けることも検討しているが予算確保で停滞している。
2	・保護者同士の交流の機会が年2回程度しかないこと	・個別支援である以上、交流の機会で保護者様のニーズに合っているのかを考えると日程設定など回数多く行うことは難しい。	・イベント等での交流を行った場合には、目的も明確にし、保護者様に伝えていくこと。
3	・地域の他のお子様と活動する機会がないこと。	・地域にニーズがあるのかを調査していないこと。	・保護者や利用児のニーズに合わせることが一番大事と思われる。